

あつぎ郷土博物館年報 3

ANNUAL REPORT OF ATSUGI CITY MUSEUM



2021. May.

● 目 次 ●

I 沿 革

1 施設概要	2
2 平面図	3
3 展示テーマ	4

II 学 芸

1 展示	5
(1) 特別展示	5
(2) 企画展示	6
(3) その他展示	7
(4) 展示関連講座など	7
(5) 学芸員実習・職場体験学習	9
2 普及啓発活動	10
(1) 土日 定期講座など	10
(2) 施設見学	11
(3) 出前展示・講座	12
(4) レファレンス業務	13
3 刊行物	14
4 古民家岸邸	18
5 資料の収集・保管・活用	19
(1) 資料の収集状況	19
(2) 収集資料の保管状況	20
(3) 資料の館外貸出など	20

II 庶 務

1 組織及び職員	22
(1) 組織	22
(2) 博物館協議会	22
2 施設	23
(1) 郷土博物館	23
(2) 古民家岸邸	24
3 入館者数	25
(1) 令和2年度 郷土博物館月別利用者数	25
(2) 郷土博物館年度別利用者数	25
(3) 令和2年度 古民家岸邸月別利用者数	25

I 沿 革

あつぎ郷土博物館の前身となる厚木市郷土資料館は、寿図書館（郷土資料展示室）を改装し平成10年11月3日に開館したが、建物の老朽化と狭隘化などから平成30年3月に閉館した。

あつぎ郷土博物館は、（仮称）郷土資料館として、平成29年度より本格的な建設準備に着手し、平成31年1月27日に開館。正式名称を「厚木市立あつぎ郷土博物館」と改めた。

平成20年6月	文化財課（当時）が市民公園（下川入）整備構想担当課に決定
平成27年3月1～30日	基本方針（案）に対するパブリックコメント実施
平成28年4月1日	（仮称）あつぎ郷土資料館検討委員会を設置
平成29年3月	（仮称）あつぎ郷土資料館建設実施設計、展示設計を実施完了
平成29年10月	建築着工
平成30年9月	駐車場等外構工事着手、埋蔵文化財収蔵庫建築工事着手
平成30年10月31日	（仮称）あつぎ郷土博物館竣工
平成30年11月	展示工事着手
平成31年1月18日	展示工事完成
平成31年1月27日	あつぎ郷土博物館開館 あつぎ郷土博物館条例が施行

1 施設概要

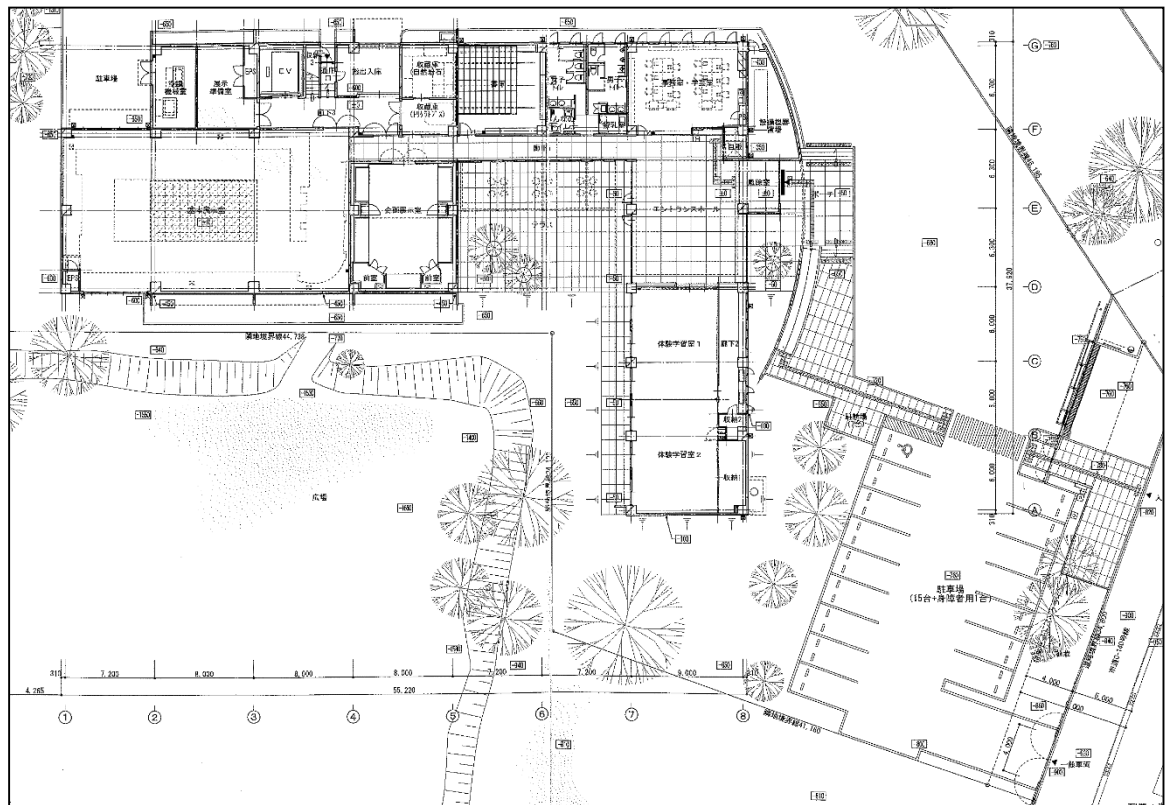
- ・所在地 神奈川県厚木市下川入1366-4
- ・敷地面積 10,025㎡
- ・建築面積 1,590㎡
- ・延床面積 1階 1,092㎡、2階 497㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造 2階建
- ・工期 着工 平成29年10月
完成 平成30年10月
- ・開館 平成31年1月27日

・工事関係者一覧

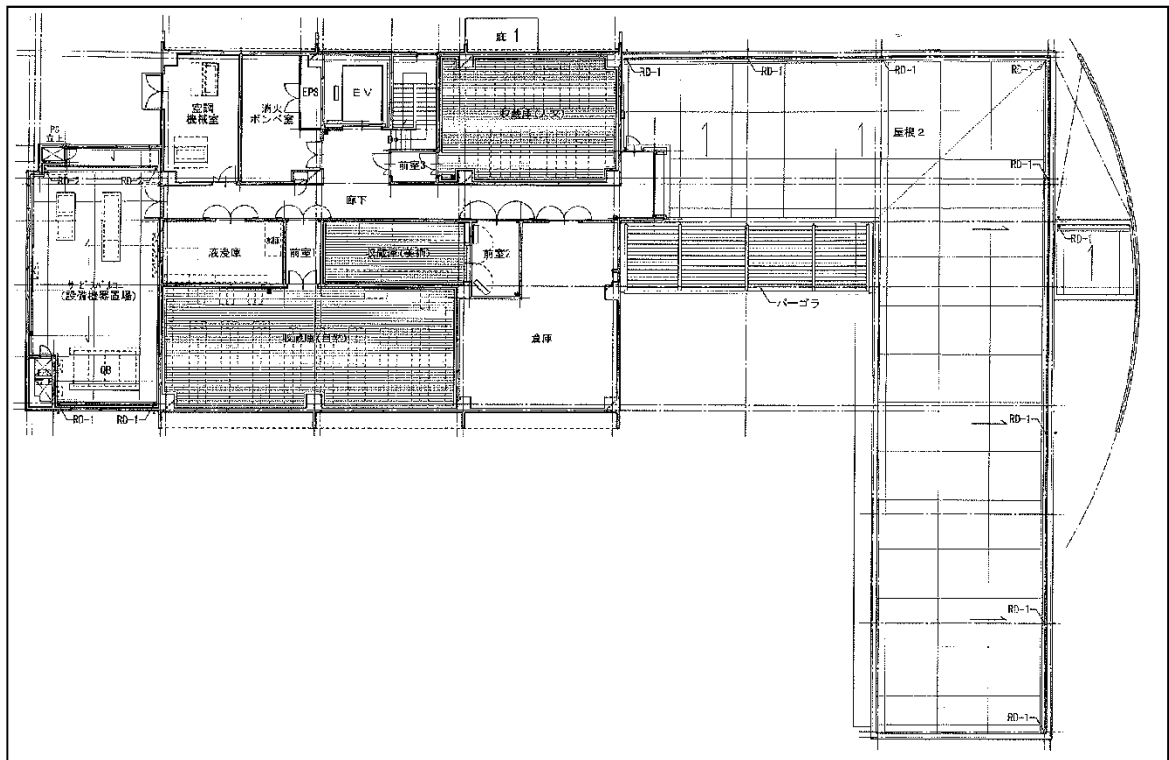
建築設計・施行管理	株式会社 小林建築事務所
展示設計・施行管理	株式会社 丹青社
建築工事	山王・安藤特別共同企業体
外構工事	山王・安藤特別共同企業体
展示工事	株式会社 丹青社

2 平面図

(1) 1F



(2) 2F



3 展示テーマ

基本展示は、地学・考古・歴史・民俗・自然、5つの分野で構成し、各分野でさらに項目、細項目をたて、郷土あつぎを理解できるような展示とした。また、分野を横断して1つのテーマに取り組む「融合展示」は令和2年度のテーマを「木」とした。展示は、実物資料を中心として興味深い資料を実際にみていただき、具体的なデータはパネル等で説明している。「融合展示」は、年度末に令和3年度のテーマ「水」へ展示替えを実施した。

- (1) 展示面積 292m²
- (2) 展示資料数 663点(うち融合展示73点)
- (3) 展示資料点数内訳

	地学資料	考古資料	歴史資料	民俗資料	自然資料	合 計
テーマ	あつぎの風土を望む	あつぎの大地から	あつぎの原風景を訪ねて	あつぎの人、くらしに出会う	あつぎの環境と生きものを探る	
基本展示資料点数	11	157	203	106	113	590
融合展示資料点数	0	21	4	17	31	73
合 計	11	178	207	123	144	663



融合展示「木」

Ⅱ 学 芸

1 展示

(1) 特別展示

特別展示 「優しい旅びと・渡辺崋山」展—「厚木六勝」と「游相日記」—

期 間 9月19日～11月8日

開催日数 48日 展示点数 50点

入場者数 特別展示単独でのカウントはとらなかったが、
期間中の博物館入館者数は8,180名（1日平均 約170人）

平成30年（2018）、アメリカハーバード美術館で「厚木六勝」が発見されたことを受けて、天保2年(1832)に厚木を訪れた渡辺崋山に対する興味と理解を深めることを目的に特別展を開いた。

企画展示室では、ハーバード美術館で発見された「厚木六勝」の複製をはじめ、東京国立博物館が所蔵する「鷹見泉石像」（国宝）、田原市博物館が所蔵する「渡辺崋山像」、「千山万水図」の複製をそれぞれ作成し展示した（写真上）。また、崋山とともに厚木を旅した高木悟庵に手本として渡したとされる「骸骨之図」と「三亀之図」を田原市博物館から借用して展示した。他にも、エントランスホールでは、崋山が厚木を旅した際の紀行文、『游相日記』を展示した（写真下）。



(2) 企画展示

あつぎ郷土博物館では令和2年度、以下の企画展示を開催した。

回	タイトル	期 間／日 数	見学者数* (1日平均)
1	むしってすごい！ ～昆虫写真家が切り取った驚きのむし ワールド～	6月11日(木)～8月30日(日)／78日	5,140(65)
2	かながわの遺跡展 相模川遺跡紀行 ～3万年のものがたり～	12月24日(木)～1月11日(月)／12日	936(85)
3	再生・永遠回帰の生命 ～人はどこから来てどこへ行くのか～	3月22日(月)～4月11日(日)／20日 ※3月31日まで(9日間)は 1,178(130)	2,429(121)

※見学者数は特別展示と同じ期間の博物館来館者数。

※「かながわの遺跡展」は、緊急事態宣言発出により期間を短縮して開催した。

※「再生・永遠回帰の生命」展は、緊急事態宣言発出により会期を変更して開催した。

ア むしってすごい！

～昆虫写真家が切り取った驚きの むしワールド～

4人の昆虫写真家が「とびきり・なりきり・どっ
きり・びっくり」をテーマに撮影した昆虫写真を
組み合わせたコラージュを展示した。展示室内で
は展示に関する問題を記入するワークシートを配
布し、多くの参加を得た。



イ かながわの遺跡展 相模川遺跡紀行

～3万年のものがたり～

神奈川県内最大の河川である相模川の流域の遺
跡をテーマに開催された「かながわの遺跡展」の
巡回展の会場となった。1月7日の緊急事態宣言
発出によって1月12日から休館となり、展示を中
止した。



ウ 再生・永遠回帰の生命

～人はどこから来てどこへ行くのか～

葬送儀礼にかかわる民俗資料、霊柩車、輿などにより「死と再生」をテーマとする展示。

2月11日から3月21日までの開催を予定していたが、1月7日の緊急事態宣言発出により開催を延期した。その後、宣言の延長を受けて再延期し、解除後の3月22日から4月11日までに会期を変更して開催した。



(3) その他の展示

ア ホール展示

今年度はエントランスホールでは個別の展示は行わず、特別展・企画展の展示場の一環として資料を展示、紹介した。

(4) 展示会関連講座など (19回 ※イベントを除く。)

ア 展示会関連講座

特別展・企画展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、展示テーマに関連した講演会・体験学習を開催した。

回	開催日	テーマ	場所	参加者数
1	9月26日(土)	游相日記と江戸時代の旅 講師：原 淳一郎 (山形県米沢女子短期大学教授)	体験 学習室	48
2	10月24日(土)	厚木六勝と江戸時代の絵画 講師：古田 亮(東京藝術大学美術館准教授)	体験 学習室	51
3	11月3日(火)	旅人・渡辺崋山 講師：岡田 幸夫(『渡辺崋山作国宝「鷹見泉石像」の謎』著者)	体験 学習室	43
4	12月26日(土)	相模川の沖積平野における地形環境変遷と遺跡の立地 講師：小野 映介(駒澤大学文学部地理学科教授)	体験 学習室	18
5	2月14日(日)	再生・永遠回帰の生命 講師：小島 瓊禮(琉球大学名誉教授)	体験 学習室	中止
6	2月27日(土)	江之島淵からみる中世世界と異界、他界 講師：城川 隆生(日本山岳修験学会)	体験 学習室	中止
7	3月6日(土)	現代の怪談を語る 講師：小泉 凡(小泉八雲記念館名誉館長)	体験 学習室	中止
8	3月14日(日)	「幽顕分界」(国土奉還)を舞い、語る 講師：垣澤 瑞貴(相模里神楽垣澤社中)	体験 学習室	中止

9	3月20日(土)	霊柩車をつくる、あの世へおくる 講師：今村 勉 (有限会社 J・F・C 代表取締役)	体験 学習室	中止
合計 (4回)				160

※コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から5月26日、1月12日から3月21日まで休館した。また、9月25日まで講座・講演会の開催を控えた。

イ 展示解説

特別展・企画展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、各展示担当の学芸員による展示解説を実施した。

	実施日	事業名	参加 人数	小計 (人)
特別 展	9月19日(土)	展示解説「渡辺崋山」展をみる 担当：山岡 裕子 (郷土博物館学芸員)	15	105
	9月20日(日)		11	
	9月22日(火)	展示解説「游相日記にみる江戸時代の生業」 担当：大野 一郎 (郷土博物館学芸員)	5	
	10月3日(土)	展示解説「渡辺崋山」展をみる 担当：山岡 裕子 (郷土博物館学芸員)	7	
	10月10日(土)		6	
	10月18日(日)		19	
	11月1日(日)	展示解説「渡辺崋山」展をみる 担当：飯田 好人 (郷土博物館学芸員)	18	
	11月8日(日)	展示解説「渡辺崋山」展をみる 担当：山岡 裕子 (郷土博物館学芸員)	24	
巡回 展	1月9日(土)	展示解説「相模川遺跡紀行」展みどころ解説 担当：神奈川県埋蔵文化財センター職員	中止	中止
	1月17日(日)		中止	
	1月23日(土)		中止	
企画 展	3月21日(日)	展示解説「再生・永遠回帰の生命」展をみる 担当：大野 一郎 (郷土博物館学芸員)	中止	中止
合計 (8回)				105

※コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言中の展示解説を取りやめた。

ウ イベント

事業名	実施日	内容	場所	参加人数
来館者5万人 達成記念セレ モニー	6月28日(日)	5万人目の来館者に認定書の交付	体験 学習室	20
合計(1回)				20

エ その他

	開催日	講座名	場所	参加人数
その他	10月3日(木)	特別展「優しい旅びと・渡辺崋山」展見学	企画 展示室	9
	10月20日(火)	浮世絵摺り体験(厚木南公民館)	体験 学習室	13
	10月21日(水)			11
	10月22日(木)			11
	10月24日(土)	特別展「優しい旅びと・渡辺崋山」展見学 (荻野の歴史を学ぶ会)	体験 学習室	15
	10月25日(日)	特別展「優しい旅びと・渡辺崋山」展見学 (相模原市民俗調査会)	体験 学習室	21
	11月8日(日)			25
合計(7回)				105

(5) 学芸員実習・職場体験学習

ア 学芸員実習

コロナウイルス感染拡大防止にかかる留意事項を示した文化庁からの通知を思慮し、大学生の学芸員実習を控えた。

イ 職場体験学習

中学校の総合学習の一環として実施されている職場体験学習だが、今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、生徒の受け入れを控えた。

また、8月に社会体験研修(中堅教員研修)として睦合東中学校より教員1人を受け入れた。

2 普及啓発活動

あつぎ郷土博物館では、調査・研究の成果を活かした普及講座を行なっている。

今年度は、土日を中心に普及活動を展開し、基本展示において各担当学芸員が専門分野を活かした展示解説、講座・講演会を多数行った。

(1) 土日 定期講座など (23回)

ア 展示解説

事業名	回数	参加人数
展示解説「展示で知る、あつぎの自然」担当：槐 真史	7	83
展示解説「展示で知る、あつぎの民俗」担当：大野 一郎	4	10
展示解説「展示で知る、あつぎの歴史」担当：飯田 好人	7	53
合計	18	146

※コロナウイルス感染拡大防止のため、4～8月中、1～3月中の展示解説を中止した。

イ 博物館講座

	事業名	実施日	講座名	場所	参加人数
1	土曜 自然教室	9月12日(土)	菁莪公園の生きものたち 講師：佐藤 誠三（元宮ヶ瀬ビジターセンター長）	体験 学習室	3
		10月31日(土)	雑木林の生きもの探検・どんぐりクラフト 講師：佐藤 誠三（元宮ヶ瀬ビジターセンター長）		20
		11月 7日(土)	オリジナル・リース作り 講師：佐藤 誠三（元宮ヶ瀬ビジターセンター長）		26
		12月12日(土)	自然観察と葉っぱで遊ぼう 講師：佐藤 誠三（元宮ヶ瀬ビジターセンター長）		17
		2月13日(土)	雑木林・草地 冬に生きる生き物探し体験 講師：佐藤 誠三（元宮ヶ瀬ビジターセンター長）		中止
		3月13日(土)	雑木林・草地 早春に生きる生き物探し体験 講師：佐藤 誠三（元宮ヶ瀬ビジターセンター長）		中止
		小計（4回）			
2	日曜自然 観察会	9月27日(日)	虫かごクラフト作り体験 講師：佐藤 誠三（元宮ヶ瀬ビジターセンター長）	博物館 周辺	20
		1月24日(日)	葉っぱカルタ遊び体験 講師：佐藤 誠三（元宮ヶ瀬ビジターセンター長）		中止
		小計（1回）			

3	古文書講座	2月11日(木)	はじめての古文書 講師:飯田 好人(郷土博物館学芸員)	体験学習室	中止
		2月18日(木)			中止
		2月25日(木)			中止
		3月11日(木)			中止
		3月18日(木)			中止
		3月25日(木)			中止
		小計 (0回)			
合計(5回)					86

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月1日から9月26日まで講座の開催を控えた。

※緊急事態宣言の発出により1月7日から3月7日までの全ての講座を中止した。

※緊急事態宣言の延長により3月8日から3月21日までの全ての講座を中止した。

※はじめての古文書は全6回の日程を全て中止した。

※参加者が無かったものについては回数に含めていない。

ウ 共催講座

郷土資料館の頃から、資料整理、調査、普及活動で協働してきた団体との活動を、あつぎ郷土博物館への移転後も継続、実施している。

団体(活動日)	回数	参加人数
古文書解読会(第2、3木曜日。4木曜日は学習会)	休止	0
伝えよう わらべうたあそびの会 (第3月曜日。第1月曜日はアミューあつぎで開催)	休止	0
女性史研究会 さねさし(第3水曜日)	休止	0
合計0回		0

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて博物館を利用した活動を休止している。

※博物館職員が会に出席しなかったものについては回数に含めていない。

(2) 施設見学(6回)

平成13年度から、郷土資料館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所などで出前展示、講座を実施してきたが、あつぎ郷土博物館への移転後も継続、実施している。

ア 小学校

市内の小学校、主に3年生を中心に博物館を利用した施設見学を行った。

開催日	学校名	人数
10月2日(金)	北小学校5年生	71
10月3日(木)	北小学校2年生	中止
10月9日(金)	北小学校4年生	中止
10月13日(火)	南毛利小学校3年生	中止
10月23日(金)	小鮎小学校3年生	76
10月30日(金)	北小学校1年生	58
11月5日(木)	依知小学校6年生	75
12月4日(金)	上依知小学校3年生	57
合計(5回)		337

※北小学校は複数学年が見学。

イ 保育所等

開催日	保育所等名	人数
11月9日(月)	厚木たちばな幼稚園	78
合計(1回)		78

(3) 出前展示・講座(18回)

平成13年度から、郷土資料館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所などで出前展示、講座を実施してきたが、あつぎ郷土博物館への移転後も継続、実施している。

タイトル	開催日	場所(学校)	参加人数
出前展示 ・講座 (小学校)	5月28日(木)	依知南小学校6年生 大山(縁起、七不思議)	95
	1月14日(木)	三田小学校3年生 むかしの道具	132
	1月25日(月)	依知小学校3年生 むかしの道具	49
	1月28日(木)	厚木小学校3年生 むかしの道具、くらし	148
	1月29日(金)	妻田小学校3年生 むかしの道具	97
	2月3日(水)	清水小学校3年生 むかしの道具	151
	2月4日(木)	愛甲小学校3年生 むかしの道具	71
	2月12日(金)	緑ヶ丘小学校3年生 むかしの道具	92
	2月17日(水)	鳶尾小学校3年生 むかしの道具	49
	2月24日(水)	南毛利小学校3年生 むかしの道具	166
	2月25日(木)	依知南小学校3年生 むかしの道具	83
	2月26日(金)	荻野小学校3年生 むかしの道具	50
	3月5日(金)	依知小学校3年生 依知のむかし	49
合計(13回)			1,232

タイトル	開催日	場 所	参加人数
講師派遣 (公民館他)	9月12日(土)	「大山街道と厚木」(横浜市荏田地域包括センター)	30
	9月26日(土)	「神奈川の富士講」(藤沢市浮世絵館)	45
	11月5日(木)	「地域めぐり」(睦合西公民館)	15
	11月7日(土)	「寺子屋講座 荻野地区めぐり」(教育研究所)	30
	11月21日(土)	「地域めぐり」(厚木南公民館)	10
合計(5回)			130

(4) レファレンス業務

地域資料に関する市民の疑問、質問の相談に対し、郷土博物館が収集している情報によって回答を行っている。今年度の業務件数は以下のとおり。下記は、相談内容の例。

【利用者数】総数134件(うち人文系88、自然系35、その他11)

分野	質問者	相談内容	対応
人文	一般	博物館の資料について	資料の受け入れ(寄贈)について担当学芸員が確認し、寄贈の手続きをとった。
	一般 庁内	富士信仰について	厚木市内の富士信仰、疫病除けに関する問い合わせについて、収蔵資料により説明した。
	一般	厚木六勝・渡辺嶺山について	渡辺嶺山が描いた厚木六勝の市内の場所について、文化財めぐりのリーフレットによって説明した。
	一般	厚木の閻魔信仰について	厚木市内の閻魔信仰についての問い合わせがあり、福昌寺や十王信仰について説明した。
自然	庁内	スインホーキノボリトカゲの処理について	市内で捕獲されたスインホーキノボリトカゲの処理依頼があり冷凍処理をした。本案件は、4月から12月までの間に5件を依頼された。
	庁内	里山保全プランについて	里山に生息する生物種のレファレンスを行った。
	一般	市内で撮影した生物について	自宅ベランダで撮影した生物は何かという問い合わせがあり、確認したところキマダラコウモリ(昆虫・ガ類)であった。
	一般	市内外で見つけたクルマミについて	厚木市内・海老名市で見つけたクルマミの「原種」について問い合わせがあり、確認したところ全てオニクルマミであった。
その他	一般	学芸員実習について	コロナウイルスの感染拡大のため、学芸員実習の受け入れについての問い合わせが数件あった。令和2年度は実習受け入れを見合わせると回答した。

3 刊行物

あつぎ郷土博物館では、展示の内容をより深く理解するため、基本展示図録、特別展示図録などを刊行している。

従来、事業周知を目的とし、月1度の発行としてきた『郷土資料館NEWS』は、『あつぎ郷土博物館NEWS』と改称し、刊行を続けている。また、事業報告を行ってきた『郷土資料館年報』についても、『あつぎ郷土博物館年報』として同様にネット上で公開を行っている。

[あつぎ郷土博物館 基本展示図録]

『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』	2019. 01	A 4 版	1, 000部
『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』	2019. 06	A 4 版	1, 000部(初版2刷)

[あつぎ郷土博物館 開館記念特別展示図録]

『第1回開館記念特別展示 みる、しる、たのしむ 浮世絵の世界—歌麿・北斎・広重—』	2019. 01	A 4 版	1, 000部
--	----------	-------	---------

[あつぎ郷土博物館 特別展示図録]

『あつぎの花咲く植物の世界—神奈川県植物誌2018の成果をひもとく—』	2019. 01	A 4 版	1, 000部
-------------------------------------	----------	-------	---------

[あつぎ郷土博物館 特別展示図録]

『優しい旅びと・渡辺崋山—「厚木六勝」と「游相日記」—』	2020. 09	A 4 版	1, 000部
------------------------------	----------	-------	---------

[あつぎ郷土博物館 NEWS号外]

『あつぎ郷土博物館 NEWS号外』 (1～3号)	2019. 4～6	A 4 版	1, 150部
--------------------------	-----------	-------	---------

[あつぎ郷土博物館 NEWS]

『あつぎ郷土博物館 NEWS』 (1～12号)	2020. 4～2021. 3	A 4 版	1, 350部
-------------------------	-----------------	-------	---------

[(仮称) あつぎ郷土博物館 準備NEWS]

『 (仮称) あつぎ郷土博物館 準備NEWS』 (1～9号)	2018. 4～12	A 4 版	1, 350部
--------------------------------	------------	-------	---------

【参考】厚木市郷土資料館 刊行物

[郷土資料館 常設展示図録]				
『常設展示図録 あつぎ百科』	1998. 11	B 5 版	1, 500部	
[郷土資料館 特別展示図録]				
『第1回 おおやまの生きもの』	1998. 11	A 5 版	1, 500部	
『第2回 出開帳』	1999. 11	B 5 版	1, 500部	
『第3回 化 石』	2000. 7	A 4 変形	1, 500部	
『第4回 東海道と矢倉沢往還』	2001. 9	A 4 版	1, 000部	
『第5回 あつぎ地域の草木☆花めぐり』	2002. 12	A 5 版	1, 000部	
『第6回 農具から農機具へ～流通民具が語るもの～』	2003. 11	A 4 版	1, 000部	
『第7回 養蚕書と出版文化～養蚕文化はどう伝わったのか～』	2004. 11	A 4 版	1, 000部	
『第8回 相模川の生きものに親しむ』	2005. 11	A 5 版	1, 000部	
『第9回 商家と看板』	2007. 2	A 4 版	1, 000部	
『第11回 本厚木駅と厚木駅～小田急、相鉄、相模線とあつぎ～』	2008. 11	A 4 版	1, 000部	
『第12回 あつぎのむし』	2009. 11	A 5 版	1, 000部	
『第13回 広告メディアが語る「商い」と地域の変遷 ー引札、チラシ、マッチラベル、錦絵、看板ー』	2010. 11	A 4 版	1, 000部	
『第14回 あつぎ あきのむし』	2011. 10	A 5 版	1, 000部	
『第15回 あつぎ 縁起書の世界ー神さま仏さまのプロフィールー』	2012. 11	A 4 版	1, 000部	
『第16回 あつぎの野鳥』	2013. 11	A 5 版	500部	
『第17回 化 粧』	2014. 11	A 4 版	500部	
『第18回 あつぎの草木＊花めぐり』	2015. 11	A 5 版	500部	
『第19回 あつぎと酒』	2016. 11	A 4 版	500部	
※第6回のみ無償、他は有償頒布。第10回は開館10年記念展。				
[郷土資料館開館10年記念特別展図録] (無償頒布)				
『郷土資料館開館10年記念特別展 あつぎ文化財まつり』	2007. 11	A 4 版	2000部	
[厚木市郷土資料館資料]				
『飯田コレクション 養蚕書関連資料リスト』 民俗資料調査報告	2005. 3. 31	A 4 版	150部	
『飯田コレクション 養蚕関連資料リスト』 民俗資料調査報告	2006. 3. 31	A 4 版	150部	
『飯田コレクション 地域関連資料リスト1』 民俗資料調査報告	2006. 3. 31	A 4 版	200部	
『あつぎ くらしの文化財 盆のスナモリ編』 民俗資料調査報告	2006. 11. 30	A 4 版	50部	

[郷土資料館 収蔵資料展示図録]

『第1回 厚木の画家 島村亮』	1998. 12	A 4 版	500部
『第7回 町場のくらしと民具』	2000. 2	A 4 版	500部
『第9回 職人の道具』	2000. 6	A 4 版	500部
『第11回 鎧と刀』	2000. 12	A 4 版	500部
『第12回 あつぎの野鳥』	2001. 2	A 4 版	500部
『第13回 活動する青年たち』	2001. 6	A 4 版	500部
『第16回 あつぎの民俗芸能』	2001. 12	A 4 版	500部
『第18回 村の古文書―馬場文書―』	2002. 5	A 4 版	500部
『第19回 あつぎの修験者』	2002. 8	A 4 版	500部
『第20回 厚木の文学者 和田傳』	2003. 2	A 4 版	500部

[郷土資料館 NEWS]

『郷土資料館 NEWS』 (1号)	1999. 3	A 4 版	500部
『郷土資料館 NEWS』 (2号～145号)	1999. 4～2011. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』 (146号～157号)	2011. 4～2012. 3	A 4 版	各600部
『郷土資料館 NEWS』 (158号～217号)	2012. 4～2017. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』 (218号～229号)	2017. 4～2018. 3	A 4 版	各660部

なお、郷土資料館開館以前、市立博物館展示準備のための基礎調査報告書については、『厚木市博物館資料』という体裁で、以下のように刊行し、資料目録（購入、収集、寄贈）も同じシリーズにて発刊してきた。資料館開館後の資料の調査、整理等に関する報告等については、『郷土資料館資料』というタイトルで資料館閉館まで刊行を続けた。

〔厚木市博物館資料〕

『厚木市荻野の動物Ⅰ』	1995. 3
『厚木市荻野の植物Ⅰ』	1995. 3
『谷戸田のムラ』	1995. 3
『鐘ヶ嶽東方の七沢石』	1995. 3
『最勝寺墓石調査報告書』	1996. 3
『厚木市荻野の植物Ⅱ』	1996. 3
『金光山最勝寺墓石調査報告書』	1995. 3
『収蔵資料目録 1 寄贈・購入昆虫標本目録 (1)』	1997. 3
『収蔵資料目録 2 寄贈・寄託維管束植物目録 (1)』	1997. 3
『厚木市相模川の動植物』	1998. 3
『長福寺墓石調査報告書』	1997. 3
『収蔵資料目録 3 脇一郎寄贈 蝶類コレクション目録 』	2005. 3

〔博物館収蔵資料展図録〕

『第1回 博物館収蔵資料展 坂東彦三郎と厚木』	1994. 2
『第2回 博物館収蔵資料展 世界のチョウ・厚木のチョウ』	1994. 11
『第3回 博物館収蔵資料展 幕末―相州厚木―』	1995. 2
『第4回 博物館収蔵資料展 一夏の風物誌―花火』	1995. 7
『第5回 博物館収蔵資料展 厚木の植物―植物に魅せられた人々―』	1996. 2
『第6回 博物館収蔵資料展 広重の富士三十六景―厚木と富士信仰―』	1996. 7
『第7回 博物館収蔵資料展 厚木の里山をあるく』	1997. 3
『第8回 博物館収蔵資料展 旅―村、往還そして街道―』	1997. 12

4 古民家岸邸

厚木市指定有形文化財である旧岸家住宅を展示場として、市民から寄贈された五月人形、雛人形を展示する計画をしていたが、緊急事態宣言の発出を受けて休館としたため、開催を中止した。その他、季節展示も中止となった。

回	タ イ ト ル	期 間	入場者数
1	古民家岸邸の端午の節句	4月17日(水)～5月6日(水)	中止
2	古民家岸邸の七夕	—	中止
3	古民家岸邸の十五夜と十三夜	—	中止
4	古民家岸邸の雛まつり	2月17日(水)～3月7日(日)	中止

5 資料の収集・保管・活用（令和3年3月31日現在）

(1) 資料の収集状況

郷土博物館は、前身である郷土資料館の頃から、郷土 厚木の歴史、民俗、自然に関する資料を購入、寄贈、寄託、採集などの方法で収集を行ってきた。令和3年3月末日現在、資料調査、整理を進め、資料件数を点数に改めるなどの精査を行った結果、新たに寄贈を受入れた資料86点を加え、合計点数は 183,865点 となった。

収集した資料は、各種展示会等において展示公開を進めている。

ア 入手方法別 資料の収集状況（累計）

	購入資料	寄贈資料	寄託資料	採集資料	その他資料	合計
人 文	4,733	19,115	6,823	0	285	30,956
自 然	1,511	24,958	1,436	124,956	48	152,909
合 計	6,244	44,073	8,259	124,956	333	183,865

イ 寄贈資料の受け入れ状況（敬称略）

受入年月日	資 料 名	寄贈者名（敬称略）	氏名 公開	数量
2020年4月8日	木工関連資料一括、木とくらし連書籍一括、戦争関連資料一括	厚木市七沢 中川重年	○	3
2020年4月14日	戦争関連資料一括 他	厚木市飯山 江藤 孜	○	3
2020年6月8日	組紐道具一式 他	厚木市中荻野 佐藤淳一	○	6
2020年6月15日	蚊 帳（麻製）	厚木市旭町 種子 彰	○	2
2020年6月18日	三田小学校関連写真	横浜市緑区 A・H	×	6
2020年7月9日	写真資料（角田浩一撮影）、書籍一括（角田浩一所蔵）	小平市美園町 内堀直子	○	2
2020年7月14日	鮎竿（相模川で使用）	厚木市下依知 森脇堂孔	○	1
2020年7月21日	ヤ（先山の道具）、下草刈の鎌	厚木市中荻野 落合アサ	○	18
2020年9月7日	教科書一括	厚木市下川入 佐藤英司	○	5
2020年9月9日	島村亮 掛軸	厚木市及川 小池 貢	○	1
2020年10月5日	「神奈川県防疫対策支部南毛利村分会設置の件」他	厚木市温水 服部澄男	○	2
2020年11月4日	華山先生詩書 1 帖他	横浜市中区 相澤 壽	○	3
2020年11月11日	相模川沙灘漁之図 渡辺華山画（複製）	厚木市森の里 当真英樹	○	1
2020年12月2日	紙人形（袋物花火用、パラシュート）他	厚木市棚沢 新田まち子	○	1
2020年12月9日	厚木市土地宝典（昭和57年、南毛利・玉川地区）他	厚木市飯山 後藤俊則	○	6
2020年12月10日	稲荷講（棚沢上谷）資料一括他	厚木市棚沢 山口定慧	○	1
2020年12月23日	大正習字の文（表紙に種紙使用。愛甲郡三田・村上安次郎・支那種）	厚木市愛甲 相田愛治	○	3
2021年2月5日	通い徳利（貧乏徳利、ハサ佐伯 千頭十五）他	厚木市愛甲 相田愛治	○	7
2021年2月7日	相模國愛甲郡下川入村分ヶ水帳 他古文書、教科書一括	厚木市泉町 松野 肇	○	2
2021年2月7日	ダイカイ（箱入）、鐘ヶ嶽出土 土器一括*	厚木市七沢 中山博方	○	2
2021年2月22日	掛け仏（寛永9年）他	厚木市旭町 K・J	×	1
2021年2月24日	相模人形芝居 林座関連文書資料	厚木市林 岩崎正則	○	2
2021年2月24日	地別絵図（小野村・七沢村）岩田、近藤山、宮ノ脇を欠く	厚木市小野 原田昌則	○	1
2021年3月3日	火鉢、蚊遣、扇風機他**	厚木市旭町 K・M	×	7
				86

(2) 収集資料の保管状況

郷土博物館収蔵資料の多くは、博物館内の4室の収蔵庫に収蔵、保管されている。

その他にも、昭和40年代から収集を進めてきた民具などの民俗資料は、博物館敷地内の郷土資料収蔵庫（＝写真）、三田公共用地内のコンテナ3基に収蔵している。

郷土博物館内に設置された収蔵庫は、空調機を使用し常時、文化庁が推奨する湿度55%、室温は摂氏20度、±5の温湿度を保つように設定している。

美術、人文、自然、液浸、それぞれの資料の内容により標本箱や文書箱を使用する等、専用の保存収蔵庫に収納、保存している。令和2年度は新収蔵資料について燻蒸を実施したが、展示室、収蔵庫は環境調査の結果により燻蒸の必要はなかった。



ア 収蔵施設別 資料の保管状況

	郷土博物館 収蔵庫	郷土資料収蔵庫	三田コンテナ	合 計 (点)
人 文	12,334	17,408	1,214	30,956
自 然	152,909	0	0	152,909
合 計	165,243	17,408	1,214	183,865

イ 収蔵施設面積

	郷土博物館 収蔵庫	郷土資料収蔵庫	三田コンテナ	合 計 (㎡)
面 積	497	348	108	953

(3) 資料の館外貸出など

ア 貸し出し 1件

申請日	期間	資料名	貸出先	数量
8月3日	8月5日～ 2月12日	厚木太神楽 一式、御重宝(九星便)	神奈川県立歴史博物館	10

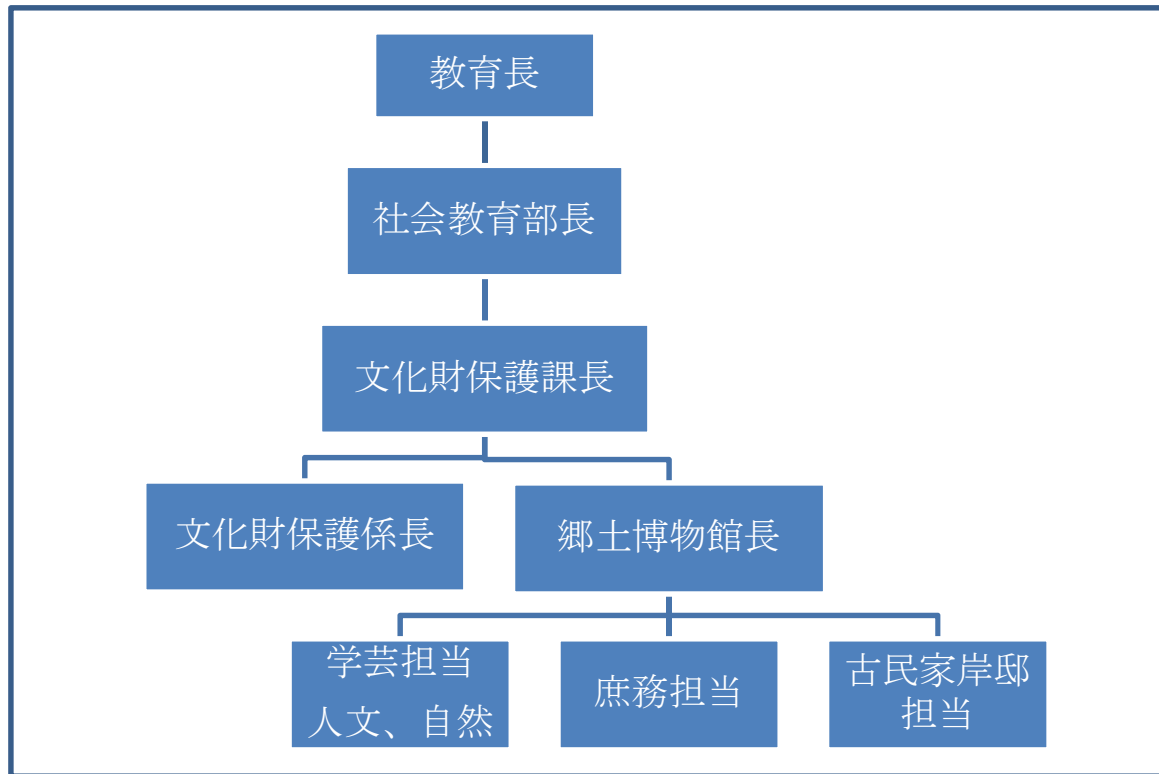
イ 特別利用 9件

申請日	資料名	利用者	形態
6月1日	「宮ヶ瀬 唐人河原」(ベアト写真帳)	中村碩子	掲載
6月8日	1953年菁莪小学校入学式写真	松野恵次	内容 確認
6月18日	川井弘次氏寄贈資料	北村大輔	調査
9月5日	割菱講御伝え	村田公男	調査 研究
10月30日	「厚木宿」(ベアト写真帳)画像データ	田中浩之	掲載
11月2日	「厚木宿」(ベアト写真帳)画像データ	武相文化財研究所	掲載
12月7日	「游相日記」(お銀宅、屋敷と庭)	綾瀬市教育委員会	掲載
1月5日	「衣襲明神(鶴屋版、文政10年、大錦)」 「蚕養守衣襲明神真影」(国政、辻文 版、明治17年、大錦)、「衣襲明神」(尾 竹国一、トヤマ梅沢町四ツ谷版)	株式会社 雄山閣 宮田哲男	掲載
2月10日	「坂下門と蓮池巽三重櫓」(ベアト撮影)	株式会社 碧水社 清水淳郎	掲載

III 庶 務

1 組織及び職員

(1) 組織（令和3年3月31日現在）



(2) 博物館協議会

ア 委員構成（令和2年6月1日～令和4年5月31日）

氏 名	所 属（分野）	氏 名	所 属（分野）
鈴木 良明	会 長 鎌倉国宝館館長（歴史）	小松 秀雄	元ポーラ文化研究所長（歴史）
鈴木 通大	実践女子大・成城大学非常勤講師 （民俗）	渋谷 嘉平	元青年の家跡地活用研究会会長
明戸 葉子	厚木市上戸田児童館指導員	田村 勝利	元麻布大学附属高等学校教諭（理科）
飯田 節子	元女性史研究会「さねさし」会長	馬場 弘臣	東海大学教育開発研究センター教授 （歴史）
市川 理恵	東京大学史料編纂所学術支援職員 （歴史）	吉田 文雄	市民公募

イ 会議の開催

日 時	内 容
6 月	令和2年度郷土博物館事業計画について及び、令和元年度郷土博物館事業報告について予定をしていたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止
11月2日	令和2年度における事業の実績及び予定、博物館展示の長期計画について
3月22日	令和2年度郷土博物館事業報告等について予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため書面会議

2 施設

(1) 郷土博物館

ア 建設概要

位 置	神奈川県厚木市下川入1366-4
敷 地 面 積	10,025m ²
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造 地上2階建
建物床面積	1,590m ² ・延床面積 1階 1,092m ² 、2階 497m ²
開館年月日	平成31年1月27日

イ 展示等面積

基本展示室	304.15m ²
企画展示室	90.81m ²
体験学習室	130.7m ² （体験学習室1、2）
専門書庫(1階)	52.7m ²
収蔵庫(1階)	30.29m ² （化石岩石展示・収蔵室）
展示準備(1階)	90.38m ² （荷解き場、展示準備室等）
収蔵庫(2階)	312.25m ² （人文、美術、自然、液浸）
施設管理室	245.24m ² （消化ボンベ、機械室、エレベーター等）
事務・学芸室	68.22m ²
共用部	215.3m ² （エントランスホール等）、48.06m ² （トイレ、授乳室）

(2) 古民家岸邸

位 置	厚木市上荻野792－2
敷 地 面 積	1,716m ²
建物床面積	520.13m ² (主屋1階 272.25m ² 2階 140.24m ² 土蔵1 1階 33.12m ² 2階 33.12m ² 土蔵2 1階 20.70m ² 2階 20.70m ²)
建設年月日	明治24年(1891)



3 入館者数

(1) 令和2年度 郷土博物館月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者	0	330	1,531	1,863	2,230	2,600	4,572	3,316	1,347	582	0	1,178
開館日	0	5	29	30	30	29	30	29	27	8	0	9
平均	0	66	53	62	74	90	152	114	50	73	0	131
累計	0	330	1,861	3,724	5,954	8,554	13,126	16,442	17,789	18,371	18,371	19,549

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月1日から5月26日まで及び
1月12日から3月21日まで休館。

(2) 郷土博物館年度別利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
入館者	11,664	36,586	19,549	67,799
開館日	63	320	226	609
平均	185	114	87	111

※平成30年度は4月1日から1月25日まで郷土資料館(寿町)を休館し、1月27日からあつぎ郷土博物館(下川入)として開館した。入館者数は、1月27日から3月31日までの人数。

※令和元年度(平成31年度)は、新型コロナウイルス感染対策のため3月4日から3月31日まで休館。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策のため4月1日から5月26日まで及び
1月12日から3月21日まで休館。

(3) 令和2年度 古民家岸邸月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者	0	1	71	89	73	46	115	91	67	23	0	48
開館日	0	5	20	23	22	18	23	21	17	6	0	6
平均	0	0	4	4	3	3	5	4	4	4	0	8
累計	0	1	72	161	234	280	395	486	553	576	576	624

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策のため4月1日から5月26日まで及び
1月12日から3月21日まで休館。

【 参 考 】 厚木市郷土資料館 利用者数の推移

	平成 10 年度	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
入 館 者	4,233	8,685	11,887	12,701	9,424	5,268	8,089	8,076	7,212	12,264	15,001
開 館 日	144	331	328	329	340	340	340	340	349	353	349
平 均	29	26	36	39	28	15	24	24	21	35	43

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	合計
入 館 者	13,042	12,310	12,895	14,176	13,109	14,289	11,741	8,760	6,338	246,106
開 館 日	349	351	350	350	350	350	350	359	359	7,031
平 均	37	35	37	41	37	41	34	24	18	35

※平成 10 年度は、11月 3 日から翌 3 月 31 日までの人数。

※平成 15 年度は、6 月 15 日から 9 月 13 日まで耐震工事のため 2 階展示室を閉鎖。

※平成 29 年度は、10 月 1 日から移転準備に伴い 2F 全フロアを閉鎖。

あつぎ郷土博物館年報 3

発行日	令和3年5月31日
編集	あつぎ郷土博物館
	〒243-0206 厚木市下川入1366-4
	TEL 046-225-2515
発行	厚木市教育委員会